

令和 5 年度第 4 回日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会 要点録

■会議の日時等

日時 令和 6 年(2024 年)2 月 1 日(木) 午後 2 時 30 分～午後 4 時 15 分

会場 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 2 階多目的室

出席者 協議会委員

【廃棄物に関し学識経験のある者】

宮脇委員

【市民委員】

新井委員、小松原委員、加納委員、畑中委員、タルマン委員、森谷委員、

小野委員、川面委員

【ごみ減量の推進体制の構築に資する事業者及び団体の関係者】

高松委員、大野委員、駒沢委員、津嶋委員、鈴木委員、内田委員

【環境保全課長】

中平委員

【施設課長】

細谷委員

事務局

【環境共生部】

小平環境共生部長兼クリーンセンター長

【ごみゼロ推進課】

小澤課長、高橋課長補佐、河本

欠席者 協議会委員

【ごみ減量の推進体制の構築に資する事業者及び団体の関係者】

星野委員

傍聴者 なし

次第

<協議会>

1.会長挨拶

2.前回の振り返り

3.ワールドカフェ

テーマ「食品ロス対策について」

4.その他

■主な内容

<協議会>

1. 宮脇会長より挨拶
2. 事務局より前回の振り返り
3. ワールドカフェ「食品ロス対策について」

※事務局より、進捗方法等を説明。

3つのグループ(A,B,C)に分かれ、テーマについて話し合い、下記のとおり各グループの発表を行った。

【B グループ】

メンバー：川面委員、畑中委員、高松委員、津嶋委員、内田委員、
小澤ごみゼロ推進課長

発表者：川面委員

発表内容：

- ・私たちのグループは、日頃おこなっている行動を大きく「購入」と「日頃の習慣」に分けた。
- ・「購入」については、余分には買わない・作る量を減らす・予約制にして売れ残りを減らすなど、5Rで言うところのリデュースの分類が挙げられた。
- ・「日頃の習慣」については、冷蔵庫に隙間を作る・作り置きをする・安売りしているものは買わない・リメイク料理をおこなっていくなど、5Rで言うところのリサイクルの分類が挙げられた。
- ・自分たちが普段おこなっている行動が、5Rにつながっていることが分かった。
- ・「購入」「日頃の習慣」両方の共通事項として、「食べ残しをしない」があった。
- ・その他に、目標を決めて取り組みやすくするという意見や、野菜も見た目が悪いものでも活用することで食品ロスを発生させないという意見もあった。
- ・私たちの、常日頃の意識が重要であることに気づけた。
- ・私たちのグループの結論としては、「消費者の意識改革」。意識を高めていくことによって、事業者側も消費者のニーズを把握して、ニーズに沿った取り組みをおこなうことで、社会の循環システムができるのではないかと考えた。

【A グループ】

メンバー：小松原委員、加納委員、森谷委員、駒沢委員、中平委員

発表者：中平委員

発表内容：

- ・私たちのグループは、家庭（個人）でできること、社会（事業者）でできることという分

類で話し合った。

- ・家庭でできることとして、「食品をリメイクする」や「余分には買わない」など工夫をすることが挙げられた。
- ・社会でできることとして、スーパーやコンビニなど消費者の需要に沿うよう大量の商品があるが、このような部分が食品ロスとなっている面があるのでは。これも、そもそも消費者が求めているからであるので、消費者の意識改革が重要であると思った。
- ・「SNS 映え」として、写真を撮るだけで食べもしないものを購入したりすることもあるので、ひとつの案として「映えパトロール」を結成するなども出た。
- ・独居世帯は、食品を余らせてしまう場面も多いかと思う。この問題への対応も必要。
- ・市内小中学校の給食であまったものは、どうしているのか？
- ・飲食店であまった食材を家畜の餌にする取り組みもよいのでは？

【C グループ】

メンバー：新井委員、タルマン委員、小野委員、大野委員、鈴木委員、細谷委員

発表者：新井委員

発表内容：

- ・「食」ということで、楽しみながらおこなわないと長続きしない。
- ・食品ロス対策について、具体的な目標数値がない。市長が、「日野市は食品ロス環境モデル市にする!」というメッセージを発信するだけでも良いと思う。
- ・まずは取り組むにあたって、消費者も事業者も、何も難しいツールなどは必要なのではなく、意識を変えるだけでよいのでは。
- ・日本人の「おもてなし」意識も、ありあまるものをいただくことではなく、適量なものを出すことがおもてなしだ、というカルチャーを変えていくことも大事だと思う。
- ・購入したものを使い切る、買いだめをしない、冷蔵庫の中身を確認してから買い物をする、規格外野菜を使った料理教室などの意見も出た。
- ・このような取り組みは、日野市の人口 20 万人くらいが、ちょうどよいのではと思った。

【宮脇会長より講評】

- ・各グループとも活発な議論・討論が拝見された。
- ・各グループに、行政・市民・学生・事業者など様々な業種の方が集まり意見を交わせるこのような形は非常に良いと思う。
- ・自分自身も普段の生活では、食品ロスを若干発生させてしまっている。ただ、日頃意識していくことによって、その頻度も減少すると思う。
- ・この協議会に参加されている皆様は非常に意識が高いので、それを周りの方々にも伝えられるよう発信していきたい。

7. その他

次回の開催日程等を事務局より説明

- ・次回は、令和 6 年 5 月頃開催予定。内容は、各団体からの取組発表。